科目名 ：	家庭基礎	単位数 ： 2 単位	必要スクーリング出席回数： 4 回
使用教科書 ：家庭基礎 自立・共生・創造 （東京書籍）			
学習書 ・副読本 ：なし			

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート [R]	6 枚	2 枚	2 枚	2 枚
スクーリング [S]	10 回	4 回	3 回	3 回
テスト [T]	2 回	○	×	○
その他 （課題・実習等）	なし			

1 担当者からのメッセージ（学習方法等アドバイス）

○家庭生活のさまざまなことに関心をもち、積極的にとりくみましょう
・将来自立して生活するための衣食住や経済生活、保育、高齢期について基礎的・基本的なことを学習します。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。
・レポートは教科書を活用し取り組み、提出期日までに早めに提出しましょう。

2 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を修得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b ：思考・判断・表現	c ：技能	d ：知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につける。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し想像する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	・記述の点検（レポート）	・記述の点検（レポート） ・定期考査	・記述の点検（レポート） ・定期考査	・記述の点検（レポート） ・定期考査

・学年末に５段階で評価する。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元(題材)の評価規準	評価方法
1範囲	家族・社会との共生	第１章　自分らしい人生をつくる 第２章　子どもと共に育つ 第３章　高齢社会を生きる 第４章　共に生き、共に支える	○	○	○	○	a ：関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b ：日々の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c ：他者と適切に関わったり、子どもの健やかな発達を支えたりするために必要な技術を身につけている。 d ：家族や社会の一員として役割をはたすために必要な知識を身に付けている。	・レポート ・定期考査
2範囲	生活の自立	第５章　食生活をつくる 第６章　衣生活をつくる	○	○	○	○	a ：関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b ：生涯を見通した生活の計画・管理について考え工夫している。 c ：生活の計画・管理、設計を立案するための基礎的な技術を身に付けている。 d ：健康で安全な生活を営むために必要な知識を身に付けている。	・レポート
3範囲	生活の自立 生活の創造	第７章　住生活をつくる 第８章　経済生活を営む 第９章　生活を設計する	○	○	○	○	a ：関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b ：生活の課題を見出し、解決する方法を考え、表現している。 c ：環境に配慮した生活を営むための基礎的な技術を身に付けている。 d ：安全で快適、かつ健康な生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	・レポート ・定期考査

※ 表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。